

レクチャー及び資料配布の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配布)
2. 国土交通記者会(資料配布)
3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配布)

日時：平成28年1月22日(14:00)



国立研究開発法人土木研究所『共同研究者の募集』について (平成27年度 第4回)

国立研究開発法人土木研究所では、平成28年度新規に実施する以下の共同研究について、共同研究者を募集しますのでお知らせします。なお、研究内容等の詳細につきましては、担当チームにお問い合わせください。

1. 土木研究所が提案する共同研究 (土研提案型：公募共同研究)

未利用アスファルト材料を用いた床版舗装の適用性に関する共同研究 (詳細は別添-1)	平成28年4月(予定) ～平成31年5月
担当：道路技術研究グループ 舗装チーム	
共同研究の目的(必要性)	
<p>床版舗装は、床版面の水分影響を無くすため水密性を有すると共に、表層のひび割れを防ぐためにたわみ追従性を有する重要な役割を果たしている。しかし、この目的に舗設されるグースアスファルト混合物に用いられるアスファルトは、南米の限られた場所でしか採掘できないこと、輸送距離が非常に遠距離であること、硬質な固体であることから混合物の製造時には作業性が良くないのが現状である。</p> <p>そこで、本共同研究は、未利用アスファルト材料として現在床版には用いられていない舗装材料に着目し、床版用舗装材料として適用可能性を研究することを目的とする。</p>	
共同研究の内容	
<ol style="list-style-type: none">(1) 未利用アスファルト材料の性状分析(2) 床版舗装材料としての適用性に関する検討および実証実験(3) 未利用アスファルト材料を用いた床版舗装技術等の提案	

2. 募集期間 平成28年1月22日(金)から平成28年2月22日(月) 17:00まで

3. その他 土木研究所の共同研究制度の概要や申請書等の様式につきましては、土木研究所ホームページ(<http://www.pwri.go.jp/>)に掲載しております。

問 い 合 わ せ 先	
全般的なことについて	国立研究開発法人土木研究所 企画部 研究企画課 課長 大住 道生 主査 古田 佳吾 電話 029-879-6751
研究内容について	国立研究開発法人土木研究所 道路技術研究グループ 舗装チーム 上席研究員 久保 和幸 主任研究員 川上 篤史 電話 029-879-6789

別添-1

1. 共同研究の名称

未利用アスファルト材料を用いた床版舗装の適用性に関する共同研究

2. 共同研究の概要

< 共同研究の目的 >

床版舗装は、床版面の水分影響を無くすため水密性を有すると共に、表層のひび割れを防ぐためにたわみ追従性を有する重要な役割を果たしている。しかし、この目的に舗設されるグースアスファルト混合物に用いられるアスファルトは、南米に限られた場所でしか採掘できないこと、輸送距離が非常に遠距離であること、硬質な固体であることから混合物の製造時には作業性が良くないのが現状である。

そこで、本共同研究は、未利用アスファルト材料として現在床版には用いられていない舗装材料に着目し、床版用舗装材料として適用可能性を研究することを目的とする。

< 共同研究の内容 >

共同研究の内容（項目）

(1) 未利用アスファルト材料の性状分析

① 未利用アスファルト材料の性状分析

(2) 床版舗装材料としての適用性に関する検討および実証実験

① 要求性能の検討

② 実証実験および改良

(3) 未利用アスファルト材料を用いた床版舗装技術等の提案

① 未利用アスファルト材料を用いた床版舗装技術等の提案

3. 実施期間 平成28年4月（予定） ～ 平成31年5月

4. 共同研究の内容及び研究分担

研究の分担

研究項目	研究細目	研究分担※1		年次計画		
		土研	共同研究者	28年度	29年度	30年度
(1) 未利用アスファルト材料の性状分析	① 未利用アスファルト材料の性状分析	◎	○	←→		
(2) 床版舗装材料としての適用性に関する検討および実証実験	① 要求性能の検討	◎	○	←→	←→	←→
	② 実証実験および改良	○	◎		←→	←→
(3) 未利用アスファルト材料を用いた床版舗装技術等の提案	① 未利用アスファルト材料を用いた床版舗装技術等の提案	◎	◎			←→

※1 研究分担に主従がある場合は、主として分担する場合は◎印、従として分担する場合は○印とする。

<裏面もご覧下さい>

5. 共同研究に参画する条件及び募集する参加者数等

< 参画条件 >

- ① 床版舗装技術（グースアスファルト等）の技術開発・改良を行っているものであること。
- ② 床版舗装の施工機械等を用いた実用性検証を実施することができること。
- ③ 本共同研究に必要な専門技術者の配置及び必要な費用を分担できること。

上記条件をすべて満たしている会社またはグループとする。

< 参加者数 >

5 者程度を想定

< 参加者の選定方法 >

書類審査、必要に応じて個別ヒアリングを行い選定する。

6. その他

申請書を提出する前に下記担当者までご連絡下さい。

7. 担当者

道路技術研究グループ 舗装チーム

久保・川上（TEL：029-879-6789）